

中学校音楽科採点基準

3枚のうち1

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

問題番号		正 答 [例]		採 点 上 の 注 意	配 点
1	1	(1)	古典派	古典派の時代 もよい。	3
		(2)	(ア), (ウ)	順序は問わない。 2つとも合っているものだけを正答とする。	4
		(3)	(エ)		2
		(4)	※ 別紙 (計1枚)		40
	2	(1)	(エ)		各 3 × 6
		(2)	(キ)		
		(3)	(オ)		
		(4)	(イ)		
		(5)	(ウ)		
		(6)	(ア)		
	3	(1)	(キ)		各 3 × 6
		(2)	(ウ)		
		(3)	(イ)		
(4)		(エ)			
(5)		(ア)			
(6)		(カ)			

85

中学校音楽科採点基準

3枚のうち2

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

問題番号	正 答 [例]	採 点 上 の 注 意	配 点								
2	<p>題材名 (歌詞が表す情景や心情を思い浮かべ、曲想を味わいながら表現を工夫して歌おう)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th style="width: 5%; text-align: center;">時 間</th> <th style="text-align: center;">学 習 活 動</th> </tr> <tr> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;">第1時間目</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「花」の歌詞が表す情景や心情及び曲の表情や味わいに関心をもつ。 ・ 「花」のCDを聴いて印象を自由に話し合う。 ・ 「花」の歌詞を音読したり歌ったりして、歌詞が表す情景や心情、曲の雰囲気などについて気付いたことをワークシートに書く。 ・ 書いたことを基にして学級全体で話し合い、他の生徒の意見でよいと思ったことをワークシートに書き加える。 ○ 「花」の音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受するとともに、知覚したことと感受したこととの関わりについて考える。 ・ 「花」を歌いながら、リズム、旋律 (音のつながり方やフレーズ)、強弱を知覚・感受し、捉えた音楽の特徴をワークシートに書く。 ・ 音楽の特徴と歌詞の内容を線で結ぶ。 ・ 音楽の特徴と歌詞の内容との関わりを意識して「花」を歌う。 </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;">第2時間目</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ○ 既習曲である「荒城の月」と対比しながら、「花」のリズム、旋律 (音のつながり方やフレーズ)、強弱などの特徴を捉え、曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりを理解するとともに、音楽表現を創意工夫する。 ・ 二つの曲の雰囲気の違いを基に、「花」のリズム、旋律 (音のつながり方やフレーズ)、強弱を知覚・感受し、知覚したことと感受したこととの関わりについて「花」と「荒城の月」を歌い比べながらグループで考える。 ・ 考えたことを基に、音のつなげ方やフレーズの捉え方、強弱などを変えて様々に歌い試しながら、「花」にふさわしい音楽表現についてグループで考え、どのように歌うかについての思いや意図をワークシートに書く。 ・ ワークシートに書いたことを発表し合う。 ・ グループや学級全体で歌い試しながら、「花」の曲想や歌詞の内容を味わい、音楽の構造との関わりを踏まえて曲にふさわしい音楽表現について考える。 </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;">第3時間目</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ○ 創意工夫を生かして「花」を歌う。 ・ 前時で取り組んだ音楽表現の創意工夫を想起しながら、曲にふさわしい音楽表現となるよう、学級全体やグループで、発声、言葉の発音、呼吸する際の身体の使い方などをいろいろと試す。 ・ どのように歌うかについての思いや意図を再確認するとともに、考えが変わったりより具体的になったりしたところがある場合は、ワークシートに加筆修正する。 ・ 思いや意図と発声、言葉の発音、呼吸する際の身体の使い方などの技能との関係を意識しながら、グループや学級全体で歌う。 ・ 「花」を学級全体で歌い、学習全体を振り返り、歌詞の内容、曲想、音楽の構造などに触れながら、学んだことをワークシートに書く。 </td> </tr> </table>	時 間	学 習 活 動	第1時間目	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「花」の歌詞が表す情景や心情及び曲の表情や味わいに関心をもつ。 ・ 「花」のCDを聴いて印象を自由に話し合う。 ・ 「花」の歌詞を音読したり歌ったりして、歌詞が表す情景や心情、曲の雰囲気などについて気付いたことをワークシートに書く。 ・ 書いたことを基にして学級全体で話し合い、他の生徒の意見でよいと思ったことをワークシートに書き加える。 ○ 「花」の音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受するとともに、知覚したことと感受したこととの関わりについて考える。 ・ 「花」を歌いながら、リズム、旋律 (音のつながり方やフレーズ)、強弱を知覚・感受し、捉えた音楽の特徴をワークシートに書く。 ・ 音楽の特徴と歌詞の内容を線で結ぶ。 ・ 音楽の特徴と歌詞の内容との関わりを意識して「花」を歌う。 	第2時間目	<ul style="list-style-type: none"> ○ 既習曲である「荒城の月」と対比しながら、「花」のリズム、旋律 (音のつながり方やフレーズ)、強弱などの特徴を捉え、曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりを理解するとともに、音楽表現を創意工夫する。 ・ 二つの曲の雰囲気の違いを基に、「花」のリズム、旋律 (音のつながり方やフレーズ)、強弱を知覚・感受し、知覚したことと感受したこととの関わりについて「花」と「荒城の月」を歌い比べながらグループで考える。 ・ 考えたことを基に、音のつなげ方やフレーズの捉え方、強弱などを変えて様々に歌い試しながら、「花」にふさわしい音楽表現についてグループで考え、どのように歌うかについての思いや意図をワークシートに書く。 ・ ワークシートに書いたことを発表し合う。 ・ グループや学級全体で歌い試しながら、「花」の曲想や歌詞の内容を味わい、音楽の構造との関わりを踏まえて曲にふさわしい音楽表現について考える。 	第3時間目	<ul style="list-style-type: none"> ○ 創意工夫を生かして「花」を歌う。 ・ 前時で取り組んだ音楽表現の創意工夫を想起しながら、曲にふさわしい音楽表現となるよう、学級全体やグループで、発声、言葉の発音、呼吸する際の身体の使い方などをいろいろと試す。 ・ どのように歌うかについての思いや意図を再確認するとともに、考えが変わったりより具体的になったりしたところがある場合は、ワークシートに加筆修正する。 ・ 思いや意図と発声、言葉の発音、呼吸する際の身体の使い方などの技能との関係を意識しながら、グループや学級全体で歌う。 ・ 「花」を学級全体で歌い、学習全体を振り返り、歌詞の内容、曲想、音楽の構造などに触れながら、学んだことをワークシートに書く。 	<p>題材名は、問いを正しくとらえていれば、内容は異なっていてよい。</p> <p>学習活動は、問いを正しくとらえていれば、内容は異なっていてよい。</p>	65
時 間	学 習 活 動										
第1時間目	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「花」の歌詞が表す情景や心情及び曲の表情や味わいに関心をもつ。 ・ 「花」のCDを聴いて印象を自由に話し合う。 ・ 「花」の歌詞を音読したり歌ったりして、歌詞が表す情景や心情、曲の雰囲気などについて気付いたことをワークシートに書く。 ・ 書いたことを基にして学級全体で話し合い、他の生徒の意見でよいと思ったことをワークシートに書き加える。 ○ 「花」の音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受するとともに、知覚したことと感受したこととの関わりについて考える。 ・ 「花」を歌いながら、リズム、旋律 (音のつながり方やフレーズ)、強弱を知覚・感受し、捉えた音楽の特徴をワークシートに書く。 ・ 音楽の特徴と歌詞の内容を線で結ぶ。 ・ 音楽の特徴と歌詞の内容との関わりを意識して「花」を歌う。 										
第2時間目	<ul style="list-style-type: none"> ○ 既習曲である「荒城の月」と対比しながら、「花」のリズム、旋律 (音のつながり方やフレーズ)、強弱などの特徴を捉え、曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりを理解するとともに、音楽表現を創意工夫する。 ・ 二つの曲の雰囲気の違いを基に、「花」のリズム、旋律 (音のつながり方やフレーズ)、強弱を知覚・感受し、知覚したことと感受したこととの関わりについて「花」と「荒城の月」を歌い比べながらグループで考える。 ・ 考えたことを基に、音のつなげ方やフレーズの捉え方、強弱などを変えて様々に歌い試しながら、「花」にふさわしい音楽表現についてグループで考え、どのように歌うかについての思いや意図をワークシートに書く。 ・ ワークシートに書いたことを発表し合う。 ・ グループや学級全体で歌い試しながら、「花」の曲想や歌詞の内容を味わい、音楽の構造との関わりを踏まえて曲にふさわしい音楽表現について考える。 										
第3時間目	<ul style="list-style-type: none"> ○ 創意工夫を生かして「花」を歌う。 ・ 前時で取り組んだ音楽表現の創意工夫を想起しながら、曲にふさわしい音楽表現となるよう、学級全体やグループで、発声、言葉の発音、呼吸する際の身体の使い方などをいろいろと試す。 ・ どのように歌うかについての思いや意図を再確認するとともに、考えが変わったりより具体的になったりしたところがある場合は、ワークシートに加筆修正する。 ・ 思いや意図と発声、言葉の発音、呼吸する際の身体の使い方などの技能との関係を意識しながら、グループや学級全体で歌う。 ・ 「花」を学級全体で歌い、学習全体を振り返り、歌詞の内容、曲想、音楽の構造などに触れながら、学んだことをワークシートに書く。 										

中学校音楽科採点基準

3枚のうち3

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

問題番号	正 答 [例]	採 点 上 の 注 意	配 点	
3	マリンバやシロフォンなどの楽器による音色の違いや、マレットの種類による音色の違いを、実際に音を鳴らすことによって知覚し、それらが生み出す特質や雰囲気を感じながら、用いる音素材を決めていくことができるような活動を通して、表したいイメージと関わらせながら音素材の特徴について理解できるようにしていく。	問いを正しくとらえていれば、内容は異なっていてよい。	各 10 × 2	20
	ある短い旋律やリズム・パターンを反復、変化させながら、ある程度の長さをもった音楽をつくったり、旋律やリズム・パターンを重ねながら、複数声部による音楽をつくったりしていくような活動の過程で、音を出し、それを聴くことを通して、実感を伴いながら理解できるようにする。			
4	1 歌唱， 器楽， 創作	順序は問わない。 3つとも合っているものだけを正答とする。 内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	10	30
	2 (1)	その題材の学習において主として扱う音楽を形づくっている要素やそれらに関わる用語や記号などを共通に設定して複数の領域や分野を関連させた一題材を構想したり、主として扱う音楽を形づくっている要素やそれらに関わる用語や記号などの一部を共通にして、学びの連続性や系統性などをねらって複数の題材の配列の仕方を工夫したりすること。	10	
	(2)	「フルートによる第二主題が、クラリネットによる第一主題より軽やかに感じられるのは、主題を演奏する楽器の音色が変わって、音が高くなり、旋律のリズムも小刻みになったから」と考えることや、「ドンドコドンドコというリズムと和太鼓の音色から、日本的で、踊り出したくなるような音楽だと感じる」と考えること。	10	

1

1 (4)

著作権保護の観点により、掲載いたしません。